

# 地域防災の担い手を育てる ～防災遠足～



日本では近年、地震や風水害による大規模な災害が全国各地で発生しています。また、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震など、大規模災害に対する備えを強化していくことは喫緊の課題です。

日々、災害に對峙する私たちは、自然が人々にもたらす被害の大きさを目の当たりにしてきました。そんな私たちがだからこそ、大切な命を守るための行動を市民の皆さんに広く伝えることができると考えています。

今回、中央消防署では「防災学習」と「遠足」を組み合わせた新たな取り組み、「防災遠足」を実施しました。

現在、地域防災マニュアルをもとに地域防災リーダーの方を中心に住民の方々に対して様々な防災教育を行っているところですが、中でも、将来の地域防災の担い手となる青少年層の育成にも力をいれています。

「防災・減災」というとどこか他人事で、大人でも自分とは無関係と感じてしまう人もいます。そこで、どうしたらわかりやすく子供たちに「防災」について伝えることができるのかと考えたとき、「防災」という難しいワードも「遠足」という楽しいワードと組み合わせることで、「防災」を身近に感じ学ぶきっかけになるのではないかと考えたことから、この『防災遠足』を企画しました。

## 概要

対象…管内の小学4年生

所要時間…約2時間

オリエンテーション…20分

体験学習…35分(3ブース×10〜15分)

中之島探検…45分

## 事前準備

### 😊 学校との調整

今回は、大阪のビジネスの中心地北浜に位置し、広域避難場所である中之島公園にも近い管内の小学校へ連絡しました。

直接お話を聞いていただく機会を作っていたとき、趣旨説明を行ったところ、学校の授業で実施している防災教育とも趣旨が合致し、快く協力していただくことができました。

### 😊 地域との調整

今回は女性防火クラブの皆さんや地域みまもり隊の方、合わせて5名の方にご協力をいただき、子供たちの引率とアルファ化米試食時の配膳をしていただきました。

### 😊 区役所

アルファ化米をどこから調達するのか一つの課題でしたが、区役所の市民協働課に今回の取り組み内容を説明したところ快くアルファ化米を提供してください